
教育総合センター だより

NO. 180

令和 8. 5. 1



「力を合わせて」

教育総合センター

所 長 大森 康充

令和8年度、教育総合センター所長として着任いたしました大森 康充です。どうぞよろしくお願いたします。

新年度がスタートして、早くも一か月が経とうとしています。これまで学校園では、新年度に向けた様々な準備が進められ、始業式や入学式・入園式をはじめ、会議や打合せなど、慌ただしい日々を過ごされてきたことと思います。現在は、そうした時期を経て、少しずつそれぞれのペースをつかみつつある頃ではないでしょうか。子どもたちの新しい環境での一步一步に寄り添いながら、先生方が日々積み重ねておられるご尽力に、心より敬意を表します。今後、子どもたちと先生方による教育活動が一層充実していくことを期待しております。

さて、今年度、教育総合センターは「学び支援課」と「こども教育支援課」の2課体制となりました。学び支援課では、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現や、次期学習指導要領の改訂を見据えた教職員研修の充実、尼崎版GIGAスクール構想の推進によるICTの効果的な活用などに取り組んでまいります。こども教育支援課では、今年度開校した尼崎琴葉中学校の事業推進に加え、校内サポートルーム・エリアへの学習支援員の全校配置や、スクールソーシャルワーカーを各中学校区および尼崎琴葉中学校へ1名ずつ専任で配置するなど、不登校対策支援や教育相談体

制の充実に取り組みます。

両課においては、学校園の実情に寄り添いながら、先生方の取組を支える環境づくりを進めてまいります。

ところで、私は最初に尼崎市立小学校の教員として兵庫県に採用されましたが、今回の教育総合センター所長としての勤務を含めると、これまでに3度、尼崎市教育委員会で勤務してきたこととなります。一度目は教育総合センターの情報教育担当指導主事・指導員として3年間、二度目は学校教育課総括および学び支援課長としてそれぞれ2年間、そして今回が教育総合センター所長としての勤務となります。

過去2回の市教育委員会での勤務においても、様々な課題に直面しましたが、その都度、市教育委員会の仲間や学校園、関係の皆様と力を合わせて対応してまいりました。一人ひとりの力は決して大きくなくとも、力を結集することで困難を乗り越えることができる——その経験と、人とのつながりが、今の私の大きな財産となっています。

教育総合センター所長としての職責を果たすにあたって、皆様と力を合わせながら、様々な課題の解決に努めてまいります。そして、先生方の取組を支えながら、尼崎市の子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと考えております。

本年度も、どうぞよろしくお願いたします。

☆☆☆ 教育総合センターの事業の概要 ☆☆☆

教育総合センターは、「学び支援課」「こども教育支援課」2課体制で、研修・研究の充実とともに、学校における教育の情報化や学びの保障に向けた総合的な支援、不登校児童生徒への支援、子どもに関する教育相談などを推進してまいります。

* 学び支援課

令和7年度からの新たな教育振興基本計画のテーマ「あまたの可能性が、さきを拓く 自分をつくり 互いを認める教育」に基づき、「学び支援担当」が、令和の日本型学校教育の実現に向けた教職員研修、研究部会の運営、自主研究グループの支援を行います。また、社会教育主事の養成事業、特別支援ボランティア養成事業、学校図書ボランティア養成事業を担当し、教育関係者の学びを支援します。さらに、「ICT教育推進担当」が教職員のICT活用能力の育成や、学校における教育の情報化に向けた支援を担当します。

1 学び支援担当

次代を担う子どもたちの学びを支える教職員の資質向上を図るため、教職員研修や研究を推進するとともに、教科等研究会や教職員・教育関係者の学びを支援します。

(1) 教職員研修

研修体系に基づいた各種の研修を実施することにより、教職員の資質と指導力の向上を図ります。主に基本研修（教職年数や職階・職務に応じた研修）と専門研修（教育課題等への対応、指導力の向上など）に分かれています。多文化共生社会の実現に向けた人権に関する研修や、いじめ問題、体罰防止に向けた児童生徒理解に関する研修も実施します。

○初任者研修（法定研修）の充実

授業研究を中心に、道徳教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営及び接遇に関することなど、教員として必要な基礎を身に付けることを目指します。そして初任者教員が尼崎市での教育活動に情熱を注げるように、尼崎市の地域について学習できる研修を実施します。初任者研修をさらに充実するものとして、1年目研修に引き続き2年目、3年目においてもグループ等での授業実践研修を重ね、連続する3年間で「授業で勝負できる教員」の育成を目指します。

○中堅教諭等資質向上研修（法定研修）の充実

中堅教諭等の実践力をより高めるとともに、教育課題を研究することにより専門性を深めます。

共通研修により、尼崎の課題や展望を見つめ、中堅教員としての意識を高め、今後の教育活動に生かしていきます。

○英語教育推進事業

小・中・高等学校の外国語科・英語科を担当する教員を対象に、コミュニケーション重視の授業改善に向けた教員研修を実施することで、4技能5領域をバランスよく高めるための指導の工夫を行い、コミュニケーション中心の授業を推進することのできる教員の育成を目指します。

(2) 児童生徒文化充実支援事業

児童生徒の個性や能力の伸長、学習への意欲や学力の向上を図るため、小・中学校の教科等研究会の実践的な取組を支援します。

（なお、教科等研究会や幼稚園教育研究会が実施する研修に係る講師謝金の支払いは、学び支援課からの直費となります。講師謝金支払いは、講師謝金申請書に必要事項を記入し、研修実施1か月前に学び支援課に送付してください。研修終了後、約1か月後に講師指定口座にお振込みします。）

(3) 研究部会の運営

当面する教育課題についてその実態を十分把握し、実証的な研究を深め教育実践に役立つ研究成果を得て、「活用」に配慮した本市教育の充実を図るため、以下の研究部会を設けます。

- ・エビデンスに基づく教育実践研究部会
- ・多様な学び研究部会
- ・体力向上研究部会
- ・探究的な学習研究部会

(4) 学びの先進研究サポート事業

教員等で構成された自主研究グループに対して、講師招聘に伴う報償費など研究の充実を図るための活動を支援していきます。

また、「先進地域への短期派遣研修」の支援も行います。派遣教員の希望に応じ、先進的研究に取り組む学校園等において、3日間程度の継続的な研修を行うための旅費を支援します。

(5) デジタル採点システム活用事業

全ての市立中・高等学校の定期試験等においてデジタル採点システムを活用し、教職員の業務の効率化及び負担軽減を図るとともに、採点結果の分析機能等を活用し、生徒一人ひとりに寄り添った支援の実現や、教職員の授業力向上に取り組めます。

☆☆☆ 教育総合センターの事業の概要 ☆☆☆

(6) 研修をすすめるにあたって

研修には、各校/園の実態に即した「校/園研修」をはじめ、「教育総合センターの計画的に設定された研修」、その他各教科等研究会が主体となって企画・運営されている取組等があります。それらが補完、連携し合って教員の意欲や資質向上を促していけるようサポートしていきます。

2 ICT教育推進担当

新しい学習指導要領で「学習の基盤となる資質・能力」の一つとされる「情報活用能力」の育成を始め、文部科学省が進める児童・生徒1人1台端末を整備する「GIGAスクール構想」への対応など、学校における教育の情報化を支援します。

(1) 情報教育・教育の情報化の推進

1人1台端末の活用や、教科等横断的に「情報活用能力」を育むための情報教育の在り方を研究・推進していきます。また、各学校におけるICT機器の活用を促進するなど、教育の情報化を一層図っていくため、研修を実施していきます。

(2) 学校園ホームページ関係

各学校園からのホームページ更新申請を受け付け、確認・処理し、インターネットへの公開を行うとともに、効果的な情報発信を推進します。また、学校園のホームページ作成を支援します。

学校園のホームページによる情報発信は、年々増加傾向にあり、今後も保護者や地域と連携した教育活動を推進できるよう、情報発信の支援をします。

* こども教育支援課

- ・誰一人とり残されない学びの保障に向けた不登校児童生徒への総合的な支援を目指します。
- ・子どもの育ち支援センター「いくしあ」に所属し、教育・福祉・保健と連携しながら、児童生徒への切れ目のない支援を行います。
- ・教育相談カウンセラーやスクールソーシャルワーカーを所管し、心理・福祉の面から学校をサポートし、教育相談体制の強化を目指します。

1 不登校対策支援

(1) 不登校対策の啓発研修の実施

不登校支援にかかる学識経験専門家による研修を実施し、教職員の不登校児童生徒に対する

対応力の向上を図ります。

(2) ハートフルフレンドの派遣

ひきこもり傾向(自宅から外出がしにくい)の児童生徒や学校のサポートルーム等に登校している児童生徒を対象に、大学生や社会人をボランティアとして派遣し、自立性の涵養や社会性の伸長を援助します。

(3) 校内サポートルーム・エリアの設置推進

不登校には至らないものの、不登校傾向にある児童生徒も多く存在するため、未然防止の視点から教室での学びに「しんどさ」を抱える児童生徒の居場所の整備を進めます。

(4) 教育支援室「ほっとすてっぷ」の運営

不登校児童生徒を対象として、学校以外の学びの場及び居場所として運営するとともに、不登校児童生徒の個々の状況に合わせた段階的な支援を行います。

(5) 学習支援室「サテライト教室」の運営

不登校児童生徒の身近な居場所、学習の場として、地域の生涯学習プラザ等を活用して、こどもの自立支援員が学習支援等を行います。

2 教育相談体制の充実

(1) 教育相談カウンセラー

心理士が保護者や児童生徒と面談相談、発達検査等を行うことで、学校等の関係機関と連携しながら、適切な支援につなげていきます。

(2) スクールソーシャルワーカー (SSW)

不登校、いじめ、発達の課題、貧困、虐待、こどもを取り巻く様々な課題は多様化、複雑化しています。スクールソーシャルワーカーは、そのような課題の原因・背景が多岐にわたることを踏まえた上で適切にアセスメントを行い、支援の目標や方針を定め、多職種の専門家や関係諸機関につなぐ等、「社会に開かれたチーム学校」を支える重要な役割を担っています。

(3) 匿名報告アプリ (standby)

いじめ、不登校に関する問題や悩み事について、生徒にとって身近なアプリを活用し、教育委員会に匿名で報告・相談ができます。

教育総合センター 事務分掌表 令和8年5月1日現在

教育総合センター所長 大森 康充

学び支援課長 吉本 圭子	
学び支援担当 TEL6494-3155 (Fax6494-3151)	
※教職員の研修及び研究助成、研究部会の運営 ※教育情報収集・整理・提供 ※情報誌の発行	
係長 遠山 修司	学び支援担当の総括、2年次研修、5年次・15年次・20年次研修 コミュニケーション重視の授業改善に向けた教員研修 管外転入教員等研修、国語、道徳教育研修 校長研修、異校・園交流研修、管理職研修(県)
指導主事 畑 康介	初任者研修(小・中拠点校指導)、中堅教諭等資質向上研修 児童生徒理解(体罰防止)研修、社会科、理科、家庭科、英語 特別活動研修、図書館教育研修、一般教養研修、指導教員制度 ICT活用研修、学校飼育動物研修、学びの先進研究サポート事業 授業力向上研修、エビデンスに基づく教育実践研究部会
指導主事 橋口 裕司	中堅教諭等資質向上研修、高等学校重点課題研修、園長研修 3年次研修、幼稚園(年次研修)、高校(年次研修)、教頭研修 プログラミング教育研修、コンプライアンス研修、体育科教育研修 新任主幹教諭研修(阪神)、学校事務職員・事務補助員研修 幼児教育、就学前教育研修、幼保小接続カリキュラム研修 体力向上研究部会、特別支援教育研修、インクルーシブ教育研修 生徒指導担当者研修、子ども理解研修、中学校全体教科研究会
指導主事 小出 成美	初任者研修、臨時的任用教員等スキルアップ研修 中学校2・3年次研修、ミドルリーダー研修、栄養教諭研修 算数、数学、音楽、図工・美術科、技術科、社会科(歴史博物館) 食育、多文化・人権教育研修、情報モラル・セキュリティ研修 養護教諭研修、多様な学び研究部会、中学校全体教科研究会
行政事務員 西川 嘉彦	相談役、教育情報誌の発行、学校運営アドバイザー補助
行政事務員 平家 祐孝	学校運営アドバイザー業務
行政事務員 中 俊弘	学校運営アドバイザー業務
事務補助員 佐野 祥子	研修担当事務補助
※教育総合センターの運営・計画調整 ※教科書センターの管理	
課長補佐 林 照子	社会教育主事、学校図書ボランティア 特別支援ボランティア、庶務
主任 宇田 元則	職員研修、予算・決算、庶務、教育総合センターの維持管理
行政事務員 松浦かおり	資料収集・提供、教科書センターの管理
事務補助員 河 美代子	企画担当事務補助
ICT教育推進担当 TEL6494-3155(Fax6494-3151)	
※教育の情報化推進(ICT活用) ※情報教育推進	
係長 吉田 満	GIGAスクール構想対応、教育の情報化・情報教育推進
指導主事 吉仲 伸隆	GIGAスクール構想対応、教育の情報化・情報教育推進
行政事務員 山下 陽一	教育の情報化・情報教育推進、学校運営アドバイザー補助
行政事務員 米田 浩	教育の情報化・情報教育推進、学校園ホームページ担当、 学校運営アドバイザー補助
事務補助員 向井 裕香	ICT教育推進担当事務補助、学校園ホームページ担当

こども教育支援課長 碓 裕樹			
企画調整担当 TEL6409-4995 (Fax6409-4299)			
課長補佐	上原 豊	書記	山岡 敬之
不登校担当 TEL6409-4995 (Fax6409-4299)			
係長	三河 聡	指導主事	進藤 晃
自立支援員	田野 香代	大西 留美	市川 勉 福田 肇 上杉 信也
	前窪 純司	荒木 伸子	西井 一雄 森本 秀子 樗野 友弥
	長田 光司	佐藤 喜代子	澤嶋 伸 柗下 勝彦 魚住 誠
	兼田 隆男	河原 毅	加藤 英仁
教育相談担当 TEL6409-4995 (Fax6409-4299)			
係長	菅沼 翔吾、後藤 悠太	指導主事	土居原 広夢
教育相談 カウン セラー	武部 真紀子		田中 優喜 太田 有希
	長谷部 さやか		今西 裕美 高橋 直人
SNSカウンセラー	沖末 めぐみ 田中 義人		
スクール ソーシャル ワーカー	竹下 拓子 大台 賢史 油井 智宏 寺本 智美 岡崎 尚子 横田 理絵		
	李 慶姫 中島 知奈美 小路 久仁子 木村 アイ 小寺 敏之 前田 浩志		
山根 麻衣子 川島 拓斗 田中 真由子 藤本 優子 小嶋 啓司			
※自立支援員、教育相談カウンセラー、SNSカウンセラー、 スクールソーシャルワーカーについては、行政事務員または再任用職員			

教育情報コーナーのお知らせ

★教育情報コーナーのご案内 (担当 松浦)

教育総合センターでは、ひと咲きタワー3階『教育情報コーナー』
において図書の貸し出しをしています。

- ・原則として、貸出は6冊2週間です。
- ・庁内メール便による貸出・返却もできます。

《庁内メール便による貸出方法》

- 1 教育総合センターホームページを開く。(AMA-NET機に限る)
- 2 トップページにある【図書貸出リスト】をクリック。
- 3 【教育情報コーナー図書リスト】をクリック。
- 4 リンク先のエクセルファイル (tosyolist2) をデスクトップ
などの任意の場所にダウンロードする。
- 5 ダウンロードしたファイルを開き、目的に合った図書を検索する。「編集
を有効にする」「コンテンツの有効化」の表示があればクリックする。
- 6 希望の図書が決まったら【貸出図書の申請フォームはこちらから】をクリック。
- 7 「申請フォーム」画面に必要項目を入力して【送信】をクリック。
- 8 受付終了後、本を送付します。

★教育総合センターの場所および交通アクセス

住所：尼崎市若王寺2丁目18番3号

- ・「あまがさき・ひと咲きプラザ」(旧聖トマス大学跡)の最も
高い建物「ひと咲きタワー」に教育総合センターがあります。
本市の北東部に位置し、最寄りの阪急園田駅から、約1.1Km
の距離にあり、徒歩で約15分です。(受付：2階事務室)
- ・阪神バス(11系統 阪急園田駅南側～JR尼崎駅北側)が北側
道路(県道西宮豊中線)を概ね1時間に3本運行しており、百合
学院前で降ります。

阪急園田南側～百合学院前	所要時間	約 3分
JR尼崎駅北側～百合学院前	所要時間	約 12分

開館時間ご案内		発行	尼崎市立教育総合センター(尼崎市若王寺2丁目18番3号)
開館時間ご案内	平日 午前9時～午後9時	発行者	大森 康充
		題字	岡本 元興(元尼崎市教育委員)